

	雪印メグミルク株式会社	雪印ビーンスターク株式会社	森永乳業株式会社	株式会社明治	アサヒグループ食品株式会社（和光堂）	アイクレオ株式会社
大豆油 レシチン 大豆たんぱく	大豆油は不分別。安定的な原材料調達のため。 大豆レシチンと大豆たんぱくは使用していない。	大豆油とレシチンは不分別。調達上の理由。 大豆たんぱくは使用していない。	非遺伝子組み換え	不分別。大豆白絞油の起源原料である大豆は、安定調達の観点から不分別のものを使用。	大豆油、大豆たんぱくは非遺伝子組み換え。 レシチンは不分別。安定供給のため	大豆油は非遺伝子組み換え。 レシチンは不分別。長期的に安定した調達を可能にするため。
カノーラ油 (原料ナタネ)	不分別。安定的な原材料調達のため。	不分別。調達上の理由。	非遺伝子組み換え	不分別。一部の商品で使用しているカノーラ油の起源原料であるナタネは安定調達の観点から不分別のものを使用。	非遺伝子組み換え	使用していない。
デキストリン ぶどう糖など (原料トウモロコシ)	不分別。安定的な原材料調達のため。	不分別。調達上の理由。	デキストリンは不分別。安定供給ができないおそれ。 糖類は分別品を使用。	不分別。デキストリンの一部で安定調達の観点から起源原料に不分別のとうもろこしを使用。	非遺伝子組み換え	不分別のものもある。
その他の添加物	一部の添加物について、メーカーから遺伝子組み換え微生物等に関する情報は非開示との回答を受けている。当該添加物は高度に精製された非たんぱく性のものであり、遺伝子組み換えの影響はないと考えている。 それ以外のメーカーから購入している添加物においては、使用していない。	使用していない。	使用していない。	使用している。病者用粉ミルクで、遺伝子組み換え微生物を利用して作られたアミノ酸を一部使用。これらのアミノ酸は高度に精製されたものとして厚生労働省で安全性が確認され、使用を認められているものである。	使用していない。遺伝子組み換え微生物を利用して作られた添加物は使用していない。	一部、使用している。長期的に安定した調達を可能にするため。
「非遺伝子組み換え」への転換	意向なし。 上記原材料の起源原料を不分別から非遺伝子組み換えに切り替えることは、安定調達の観点から困難。 また、油脂、デキストリンは高度に精製されており、遺伝子組み換えの影響はないと考えている。	意向なし。 上記の起源原料を不分別から非遺伝子組み換えに切替えて調達することは現実的に困難。 また、油脂類、デキストリン等は、精製された非たんぱく性のものであり、遺伝子組み換えの影響はないと考えている。	意向なし。 今後の原材料の供給安定性を考慮して、使用する原材料を検討する。	意向なし。 現時点においては、安定調達の観点から、当該原料について非遺伝子組み換えのものに切り替えることは現実的に困難であると考え。なお、これらの原料については、高度に精製されており、遺伝子組み換えの影響はないものとする。また、添加物については、厚生労働省により安全性が確認されている。	原料の調達状況等を踏まえ、判断していく。	長期的に安定した調達が得られる状況になったら切り替えを検討する可能性がある。

<p>追加取材による情報</p>	<p>*広報室に電話取材                  ・大豆レシチンと大豆たんぱくの代わりに牛乳由来のものを使用。                  ・油脂メーカーから「非遺伝子組み換えのものは調達できない」と言われ1996年頃に切り替えた。</p>	<p>*製品品質保証部に電話取材                  ・非遺伝子組み換えの原料を入手するのは難しい。油脂メーカーの段階で困難。10年以上前から使用している。</p>	<p>*訪問し面談により取材                  ・レシチンは、非遺伝子組み換え大豆由来のものを使用。量は少ない。                  ・デキストリンは2016年春から不分別のものに切り替えた。原料メーカーから調達が難しいと言われた。                  ・アレルギー対応の製品（森永ニューMA-1、森永MA・mi）に使用するデキストリンは、トウモロコシではなくタピオカ由来のものを使用。                  ・ビタミンEは不分別。                  ・乳製品などの主な原料は全てヨーロッパ、オセアニア、米国等から輸入し国内でブレンドしている。                  ・消費者の要望にできるだけ答えることが会社の方針で、非遺伝子組み換えのものを使用。現時点では一定レベルの対応が可能だが、いつ切り替えざるを得ない状況になるかわからない。</p>	<p>*訪問も電話取材も不可</p>	<p>*品質保証部に電話取材                  ・大豆加工品は、乳アレルギーの子ども用のミルクに多く使っている。                  大豆レシチンで遺伝子組み換えでないものは、市場にはないのではないか？特に、加工度の高い大豆製品は非遺伝子組み換えのものは入手が困難。                  ・お客様の「遺伝子組み換えでないものを」という要望があるので、できるだけ非遺伝子組み換えのものを使っている。しかし、10年以上前から、入手が困難になってきている。遺伝子組み換えでないものは高価である。</p>	<p>*訪問も電話取材も不可</p>
	<p>雪印メグミルク株式会社</p>	<p>雪印ビーンスターク株式会社</p>	<p>森永乳業株式会社</p>	<p>株式会社明治</p>	<p>アサヒグループ食品株式会社（和光堂）</p>	<p>アイクレオ株式会社</p>